

南砺市吉江公民館

◆事業の目的

農作業の委託化や機械化により、小学生の農作業の体験の機会が減ってきている。そこで、地元の有志と公民館と農協が協力して農作業の体験の機会を設けて、農作物の栽培方法を子供たちに伝え、子供たちの自然を大切にする心を育てる。

吉江・広瀬公民館の共同事業の「ふるさと体験ツアーin五箇山」では親子で世界遺産や伝統文化に触れてもらい、新たな視点を習得する。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月13日（日）	田植え	高宮地内圃場	69名
6月23日（土）	野菜の種まきと収穫	高宮地内畑	29名
9月29日（土）	稲刈り体験	高宮地内圃場	15名
9月30日（日）	ふるさと体験ツアーin五箇山	五箇山地域	20名
12月22日（土）	餅つき	広瀬地区	70名

◆事業の様子

★ 田植え体験

田植えのコツを説明を受けた後、苗を持って水田に足を入れた。転がし尺でつけた跡に子供たちが苗を植えていった。泥まみれになる子供もいたがみんな楽しく植えていた。

★ 稲刈り体験

好天のもと稲の刈りやすい日だった。子供たちが植えた苗も立派に成長し、小さい手で刈るのは大変そうだった。刈った稲は高宮営農組合の方々にしぼってもらい、はさがけにした。その後、高宮営農組合の施設の中でもちつきを体験し、おなかいっぱいになった。

★ 野菜の種まきと収穫

野菜の種まきと収穫を通して食べ物を作ることの苦労と喜びを体験してもらった。当日はクーンサイの播種と人参、枝豆の収穫とジャガイモの土寄せをした。子供たちは大人に教わりながら野菜を傷つけないように慎重に収穫していて、上手に採れたときは歓声をあげていた。

★ ふるさと体験ツアーin 五箇山

吉江・広瀬公民館の共同事業として参加者を募り、五箇山へ出発した。相倉合掌集落にてガイドから五箇山の歴史や文化の説明をうけた。その後、和紙手紙やしおりづくりを体験した。各自好みの配色や模様仕上げていた。最後に旧上平中学校に保管されている解体された合掌集落の部材の見学をした。建築士会の方から昔の人々の暮らしぶりや建築の技法について伺った。

★ 田植え・餅つき

5月に子供たちが田植えをしたもち米を使い、餅つきをした。杵でついたり餅を丸めたりして食べ物と触れ合うとともに、美味しくいただいた。



◆事業の成果と課題

野菜やお米づくりを通して子供だけでなく親にも参加してもらい、たくさんの方々に農作業の苦労と楽しみを感じてもらえた。農業を大切にすることが環境保全や地元の活性化につながる。現存する合掌集落を見た後、解体された部材を見て時間の流れというものを感ずることができた。

今後の課題としては、子供たちに教えることができる達人たちの減少にある。子供だけでなく青年層も参加するような全世代参加型に広げていきたい。